

サバンナ セダン GR

日本 / マツダ / 1971



1971年9月に登場したロータリーエンジン搭載車第5弾。プレスト・ロータリーとカペラ・ロータリーの中間に位置するモデルで、同時に発表されたレシプロエンジン搭載のグランドファミリアとボディを共有する。当初はプレスト・ロータリーのそれを若干チューンした491cc x 2の10Aユニットを搭載した4ドアセダンと2ドアクーペというラインナップだったが、72年1月にはグランドファミリア・バンと共通ボディの5ドアワゴンがスポーツワゴン名で加わり、さらに同年9月にはカペラ用の573cc x 2の12Aユニットと5速ギアボックスを移植した高性能クーペのGTが登場。スカイラインGT-Rを破り国内ツーリングカーレースの新たな覇者となった"RX-3"ことワークスマシンのイメージを投影したGTは、当時の走り屋連中から絶大な支持を集めた。73年6月にフェイスリフトを受けた1カ月後の同年7月には、50年排出ガス規制適合の12Aを積んだサバンナAPをセダン、クーペ、ワゴンの各ボディに設定。次いで74年11月にはパワーユニットを、燃費およびドライバビリティを改善した50年排出ガス規制適合の12Aユニットに統一、10A搭載モデルはカタログから落とされた。75年10月、51年排出ガス規制適合と同時に内外装にフェイスリフトが施され、そのままの姿で77年まで生産された。

サバンナ セダン GR

エンジン

種類	ロータリー
冷却方式	水冷
シリンダー配置	直列
気筒数	2
バルブ形式	
排気量(cc)	491 x 2
最高出力(PS/rpm)	105/7000
最大トルク(mKg/rpm)	13.7/3500
燃料容量(Ltr.)	60

駆動方式

搭載位置	フロント縦置
駆動方式	FR
変速機 OP	4速MT フロア

シャシー

サスペンション 前	独立 マクファーソン ストラット コイル
サスペンション 後	固定 半楕円リーフ

ブレーキ 前	ディスク サーボ
ブレーキ 後	ドラム サーボ
タイヤ	6.15-13

ボディー

構造	モノコック
ドア数	4
全長(mm)	4065
全幅(mm)	1595
全高(mm)	1375
車輻重量(kg)	870
乗車定員(名)	5

性能

最高速度(km/h)	175
最小回半径(m)	